

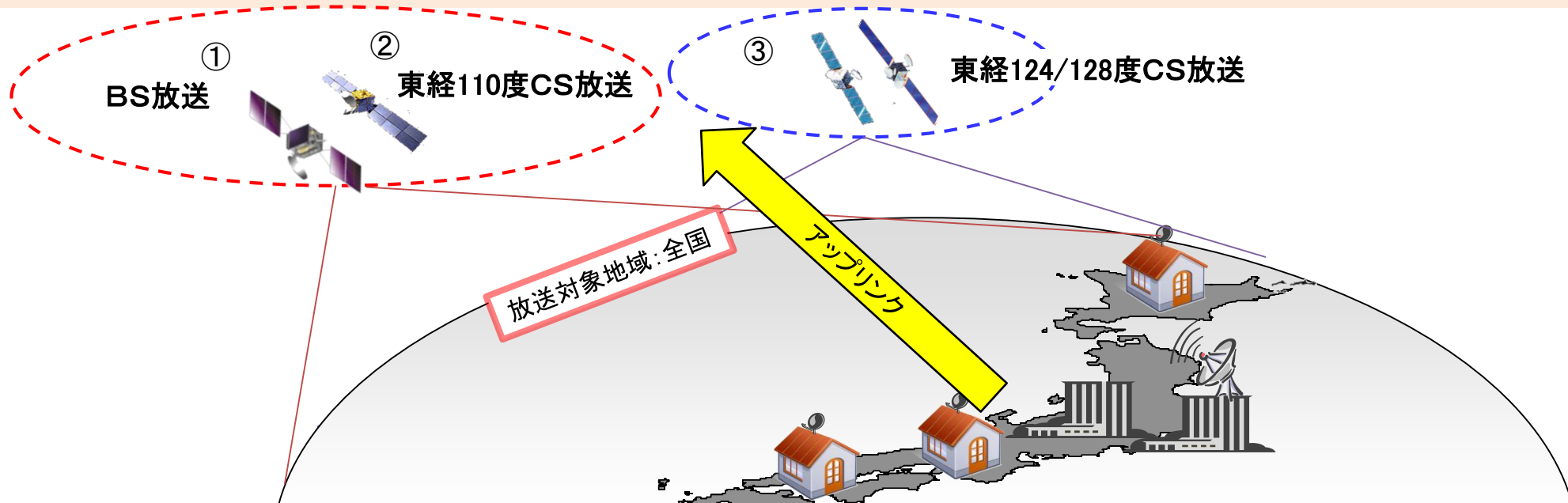
衛星放送の未来像に関するワーキンググループ (第7回)資料

令和2年4月24日
事 務 局

1. 衛星放送をめぐる市場の動向

衛星放送の仕組み

- 一つの送信点から一波で全国をカバーすることにより、経済的、効率的に全国放送を実現可能。
 - 地上(地球局)から人工衛星まで番組を伝送(アップリンク)し、人工衛星から日本全国に向けて番組を放送。
- 広帯域の伝送路を設定し、数多くの高画質番組を同時に提供することが可能であり、かつ、視聴者数がどれほど増えても、それによって品質の劣化は生じない。

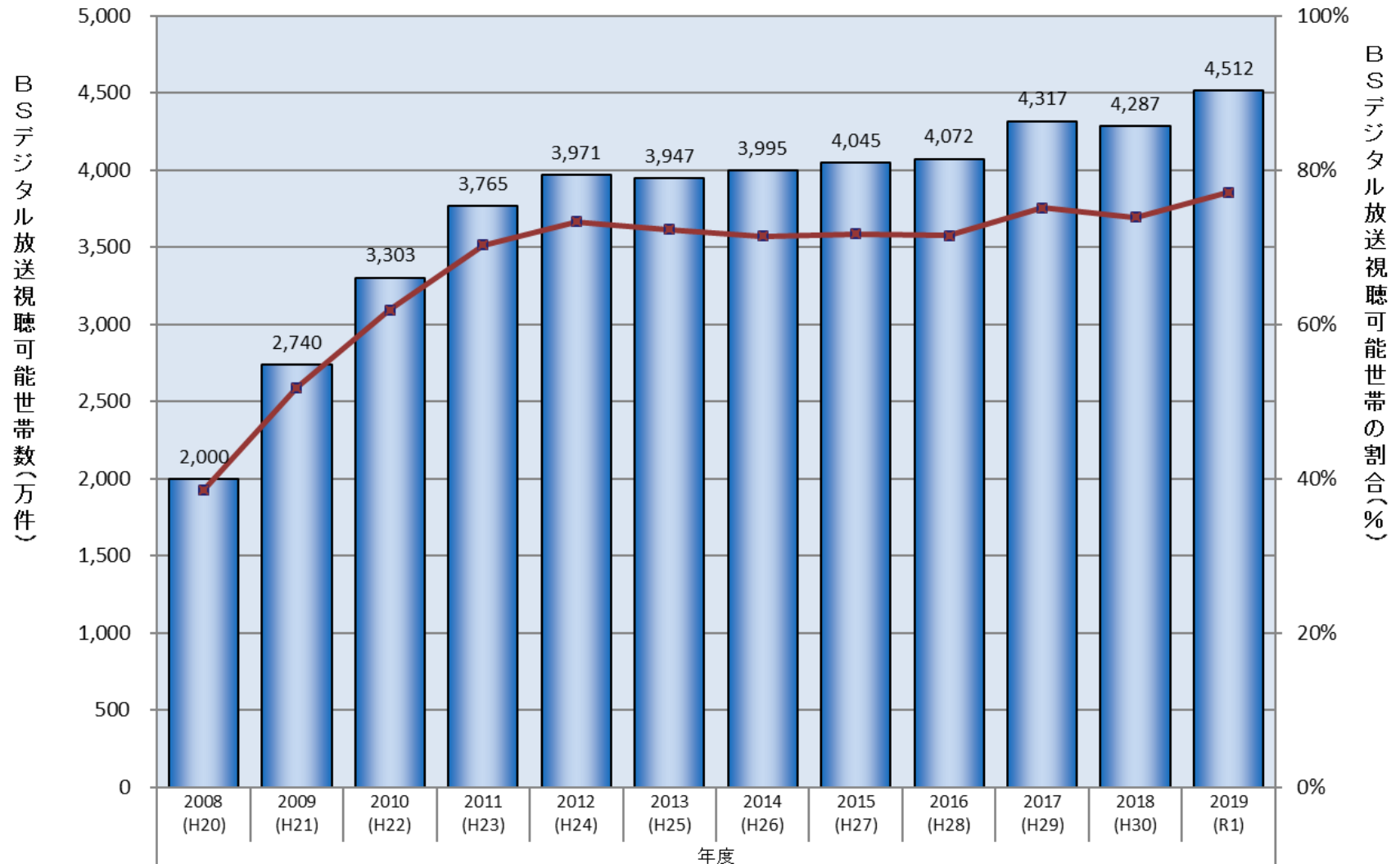


種類	① BS放送(東経110度)	② 東経110度CS放送	③ 東経124/128度CS放送
特性	【基幹放送】 (右旋)三波共用受信機(地上・BS・110度CS)により、より多くの視聴者が簡便に視聴可能 (左旋)視聴するためには、対応アンテナの設置等が必要		【一般放送】 視聴するためには、専用受信機が必要
番組数 (R2.4.1)	(右旋) 4K 6番組 HD 26番組 SD 1番組 (左旋) 8K 1番組 4K 4番組(注)	(右旋) HD 42番組 SD 12番組 (左旋) 4K 8番組	4K 3番組 HD 147番組
普及状況 (R2.3末) ※NHKは2月末	※NHK-BS契約件数2,284万件 WOWOW加入者数 285.5万件	スカパー！サービス 加入者数 215.8万件	スカパー！プレミアムサービス 加入者数 93.1万件

(注)WOWOWは令和2年12月1日より放送開始予定。

BSデジタル放送視聴可能世帯

3



■ 視聴可能世帯数	2,000	2,740	3,303	3,765	3,971	3,947	3,995	4,045	4,072	4,317	4,287	4,512
■ 視聴可能世帯の割合	38.5%	51.8%	61.9%	70.3%	73.3%	72.3%	71.4%	71.7%	71.5%	75.1%	73.9%	77.1%

(株)BS日本、(株)ビーエス朝日、(株)BS-TBS、(株)BSテレビ東京、(株)ビーエスフジ、日本BS放送(株)発表「BS世帯普及率調査」より

調査方法: RDD(ランダム・デジット・ダイアリング)法による電話調査

調査期間: 2008年度は6月と8月調査の平均値、2009～2011年度は12月と2月調査の平均値、2012～2015年度は12月と3月調査の平均値、2016～2019年度は6月と12月調査の平均値

調査対象: 全国のテレビを有する普通世帯(マスコミ関係世帯を除く)各3000世帯(都道府県毎の世帯割付あり)

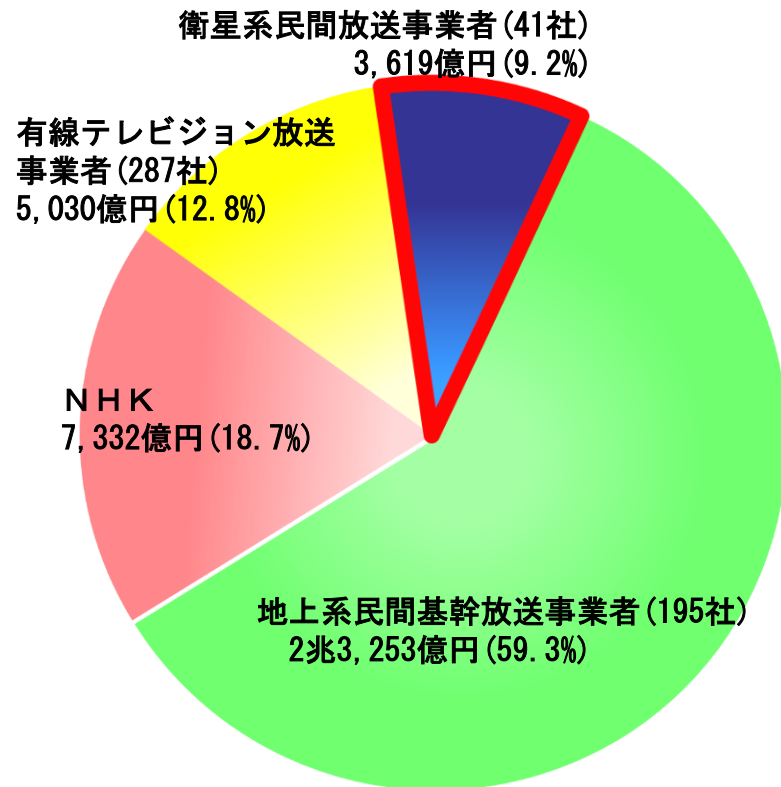
調査主体: (株)BS日本、(株)ビーエス朝日、(株)BS-TBS、(株)BSテレビ東京、(株)ビーエスフジ、日本BS放送(株)

調査実施機関: (株)ビデオリサーチ(調査主体より委託して実施。調査結果は調査主体に帰属)

- 放送メディアの市場規模は、平成30年度において約4兆円。そのうち、衛星系民間放送事業者の市場規模は約3,600億円、過去5年間は年度ごとの増減はあるものの、概ね横ばいで推移。

放送メディアの収入

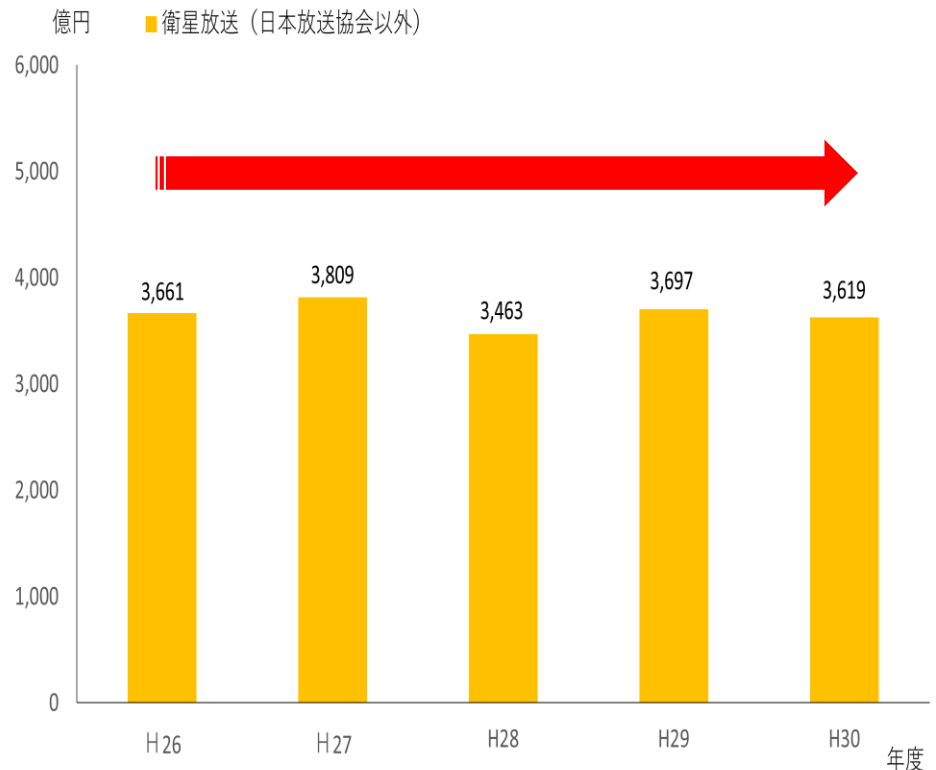
(平成30年度：3兆9,234億円)



(出典)総務省「民間放送事業者の収支状況」(令和元年11月)により作成

衛星放送の市場規模の推移

(平成26年度～平成30年度)

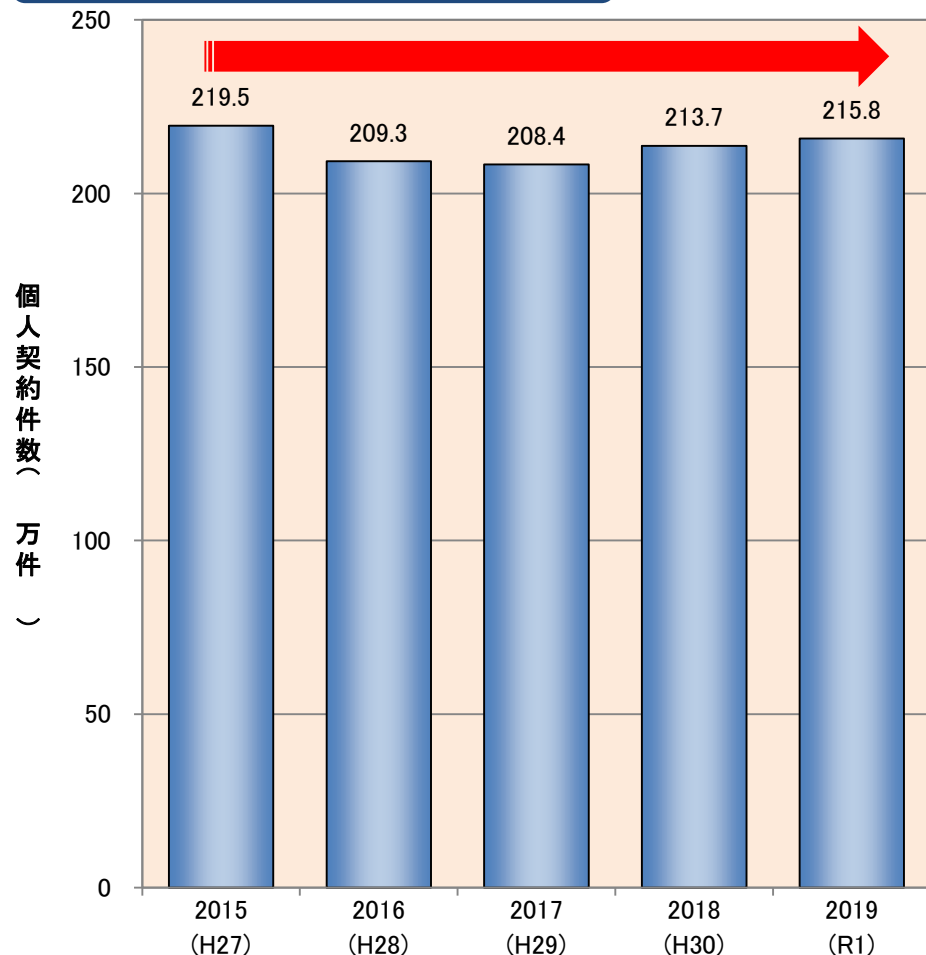


(出典)総務省「民間放送事業者の収支状況」(令和元年11月)により作成

衛星放送の加入件数

- 衛星基幹放送の有料契約件数については、概ね横ばい傾向。
- 一方、衛星一般放送の有料契約件数については、毎年減少傾向。

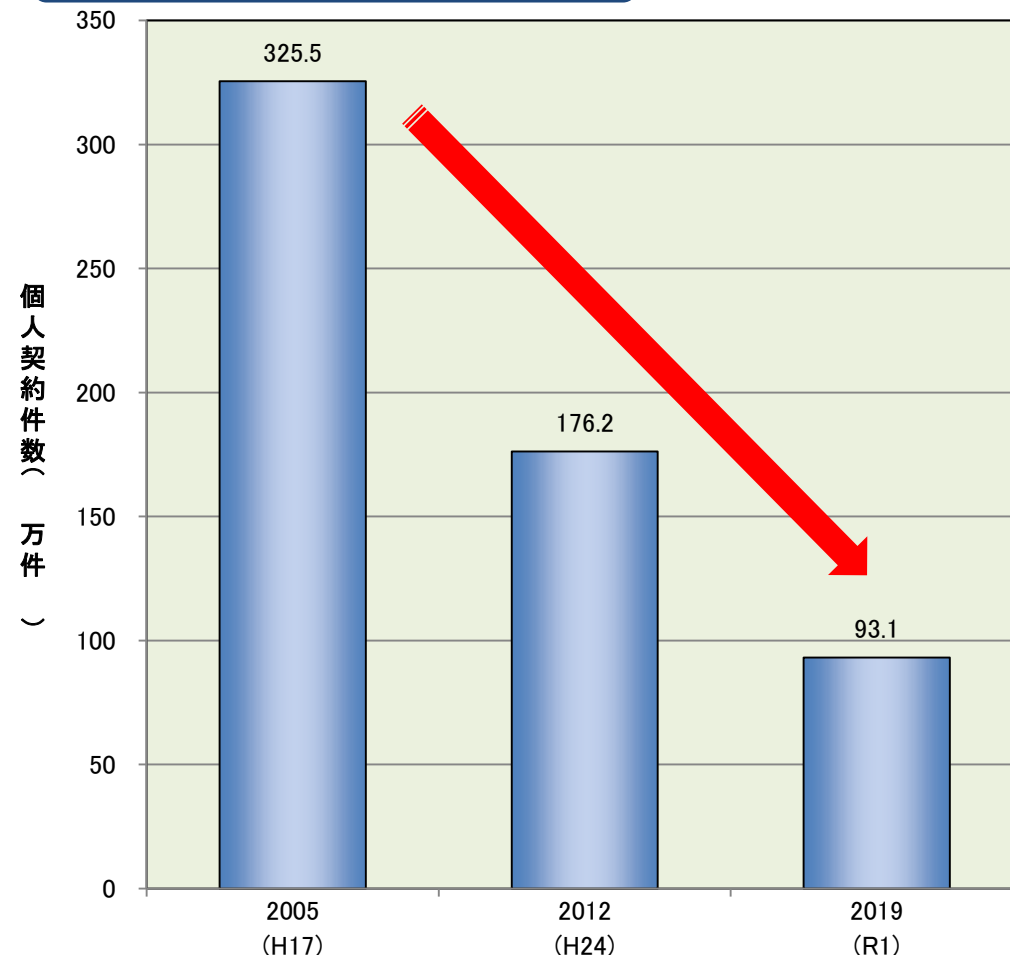
衛星基幹放送の加入件数の推移(※)



(※) 衛星基幹放送のうち、スカパー！（東経110度CS放送）の加入件数を抽出。

（出典）スカパーJSAT株式会社「スカパー！加入件数の推移」（令和2年3月）

衛星一般放送の加入件数の推移(※)



(※) 衛星一般放送のうち、スカパー！プレミアムサービス（東経124/128度CS放送）の加入件数を抽出。

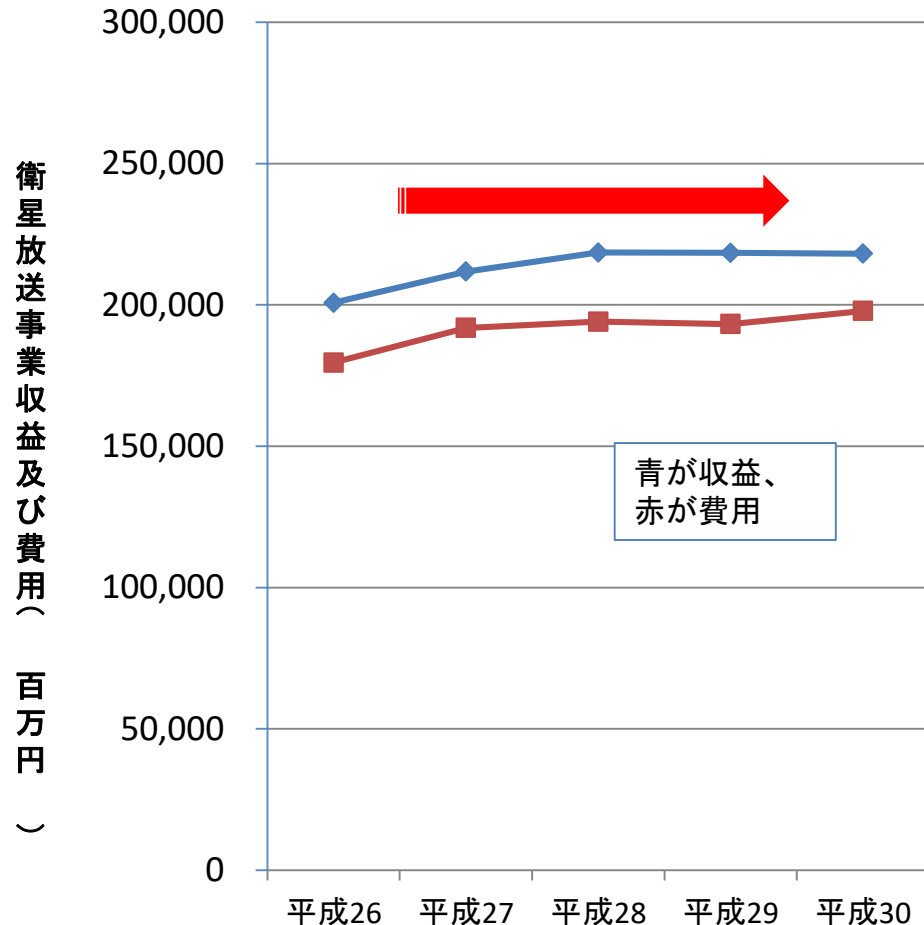
（出典）スカパーJSAT株式会社「プレミアムサービス加入件数の推移」（令和2年3月）

衛星放送事業に係る収益・費用

6

- 近年の衛星基幹放送に係る収益及び費用については、概ね横ばい傾向。
- 一方、衛星一般放送においては、収益及び費用が減少傾向。

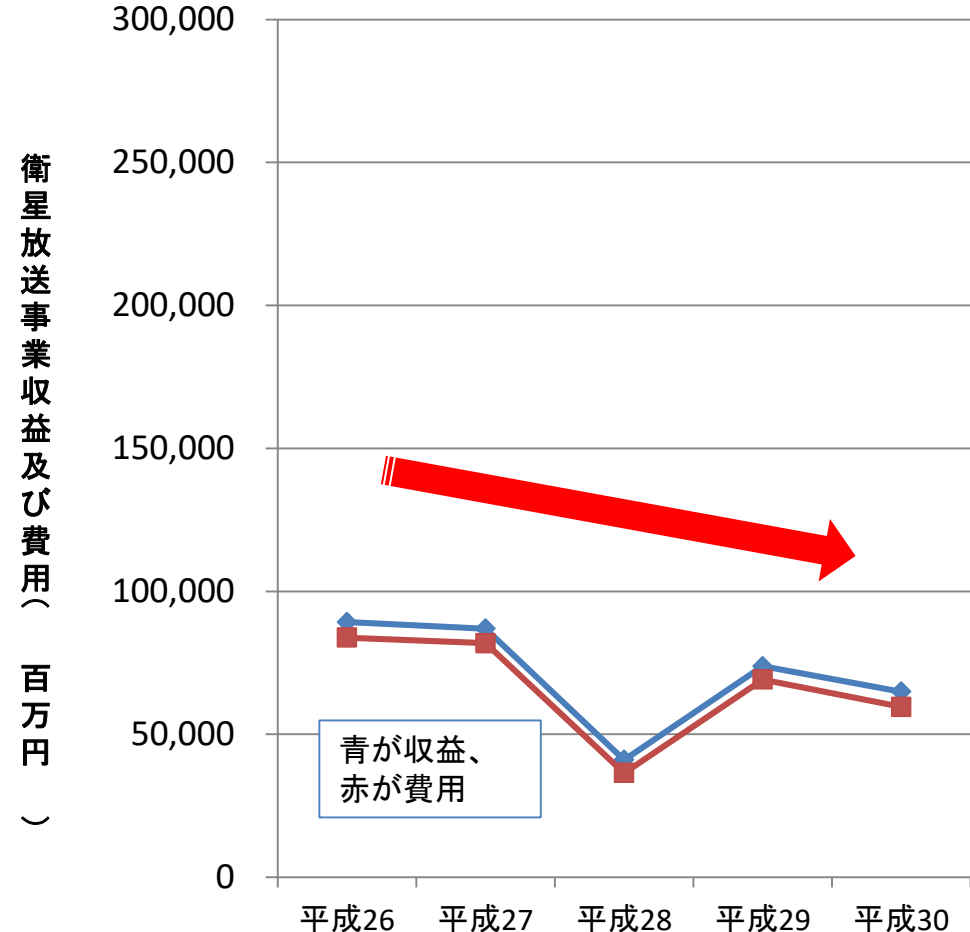
衛星基幹放送に係る収益及び費用の推移（※）



（※）衛星基幹放送のうち、BS放送の収益及び費用を抽出。

（出典）総務省「民間放送事業者の収支状況」（令和元年11月）により作成

衛星一般放送に係る収益及び費用の推移

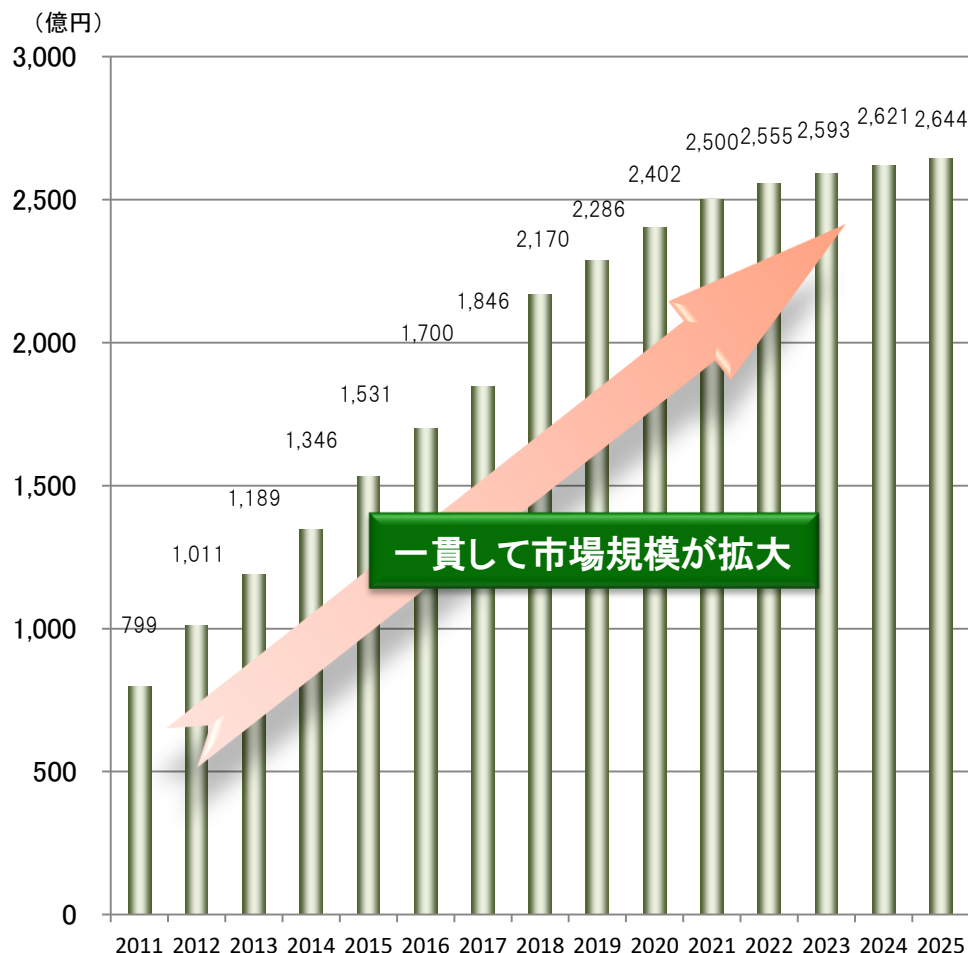


（注）平成28年度については、当該年度に行われた事業承継の影響により、数値の減少幅が大きくなっている。

（出典）総務省「民間放送事業者の収支状況」（令和元年11月）により作成

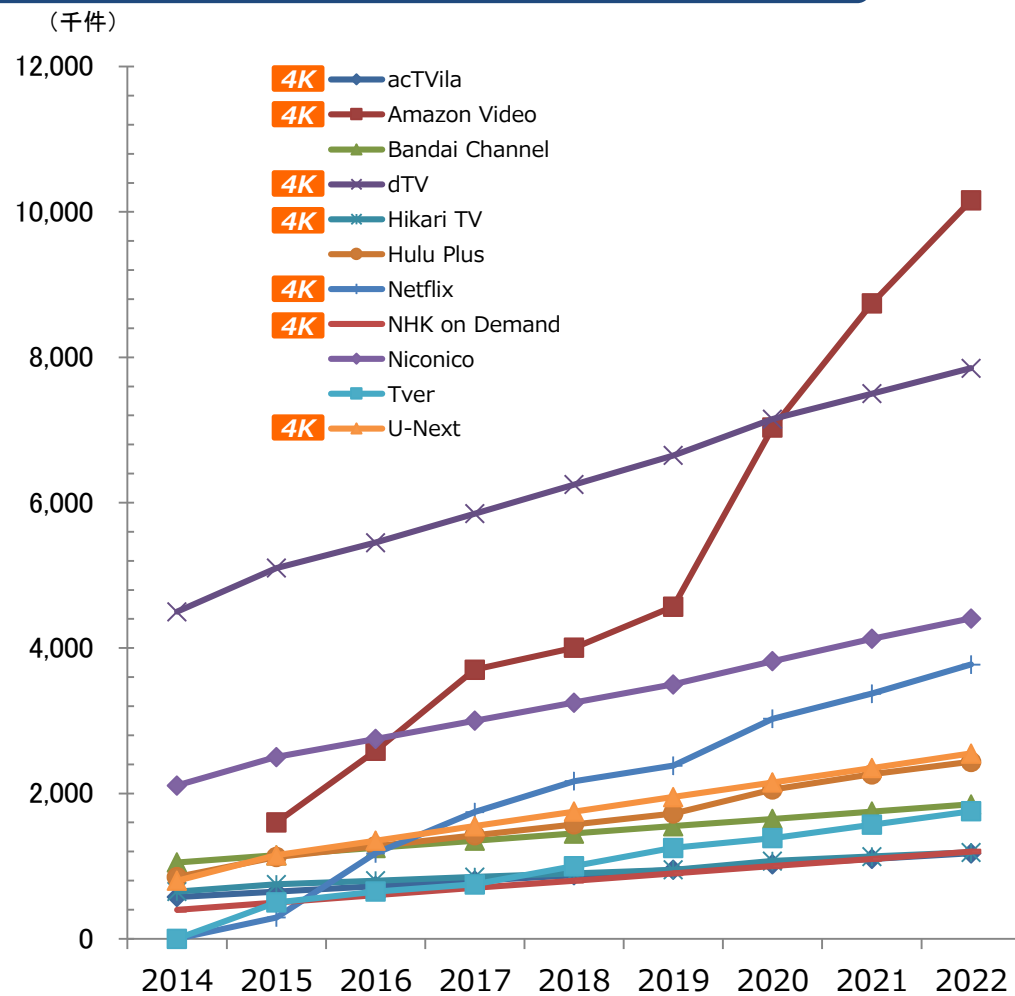
- インターネット動画配信サービスの国内市場規模及び加入者については一貫して増加傾向。
- また、海外の事業者を中心に 4 K 配信にも注力しており、競合他社との差別化を図っている。

国内動画配信市場規模（予測）

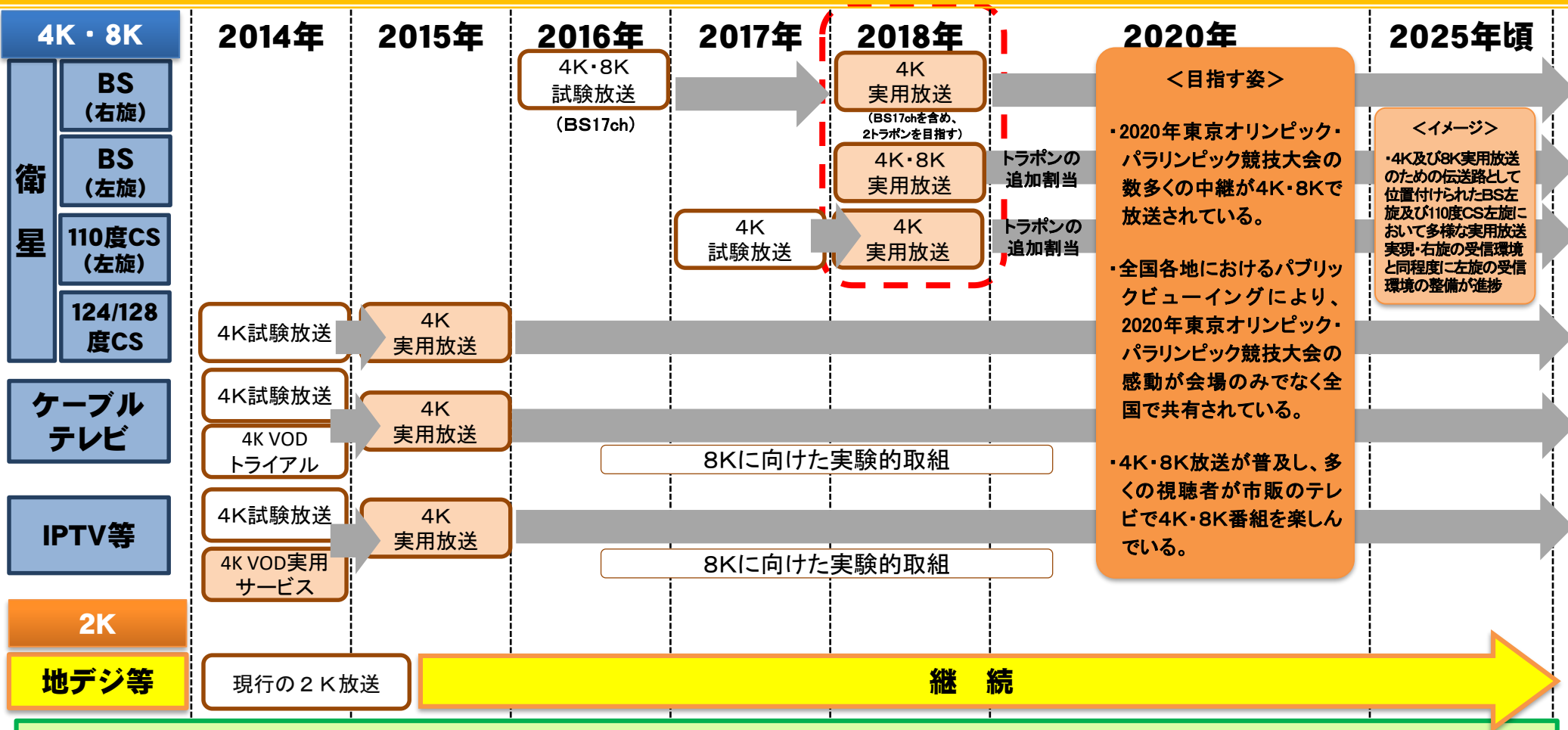


（出典）野村総合研究所「ITナビゲーター2020年版」（2019年12月）

日本の動画配信サービスの多様化（定額制動画配信加入者数）



2. 「新4K8K衛星放送」の現状と課題

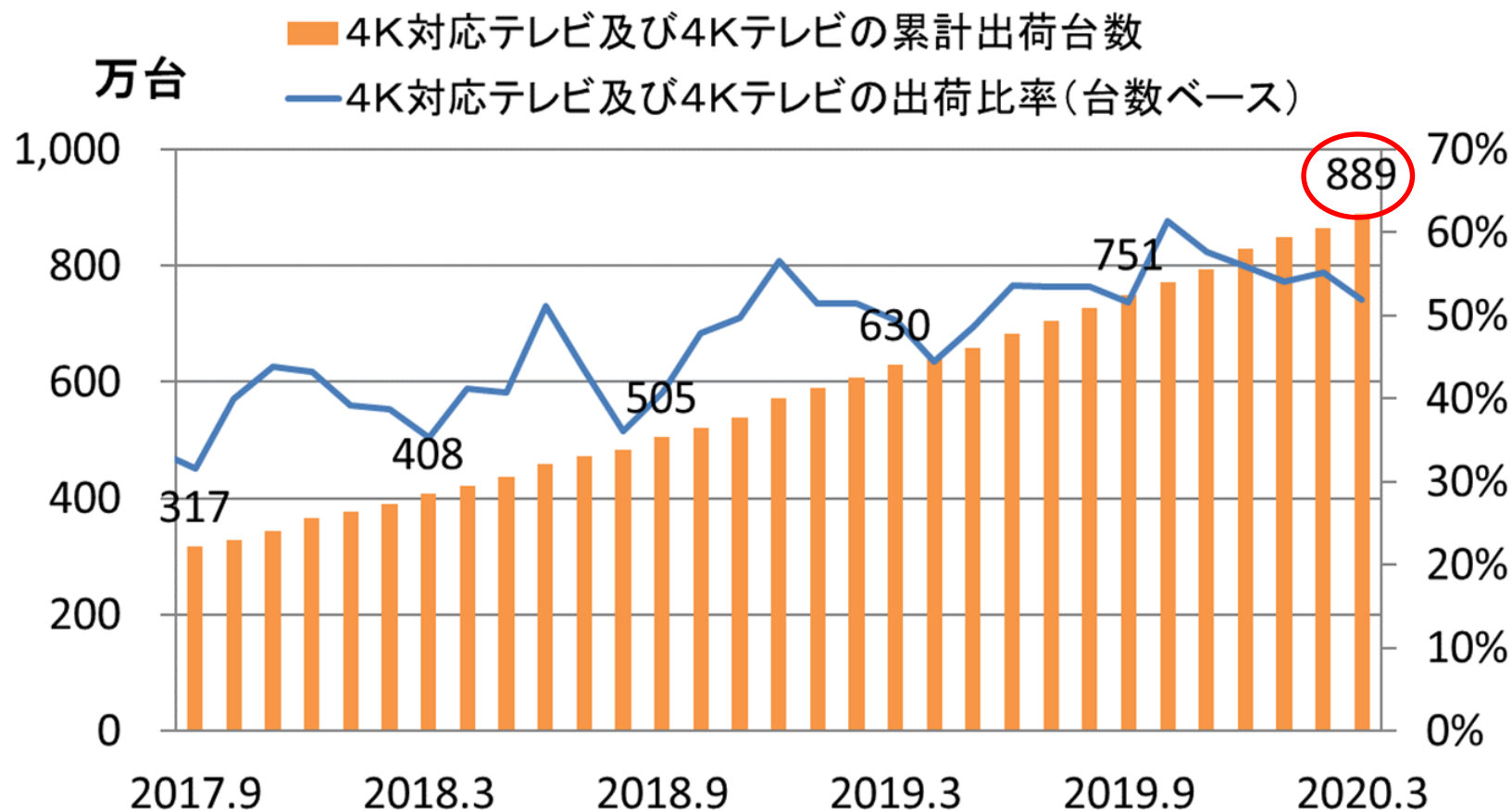


- 令和2年3月末時点で、4K対応テレビの累計出荷台数は約639万台、4Kテレビの累計出荷台数は約250万台、合計約889万台。
- また、直近のテレビ出荷台数の51.9%は4K対応テレビ及び4Kテレビとなっている。

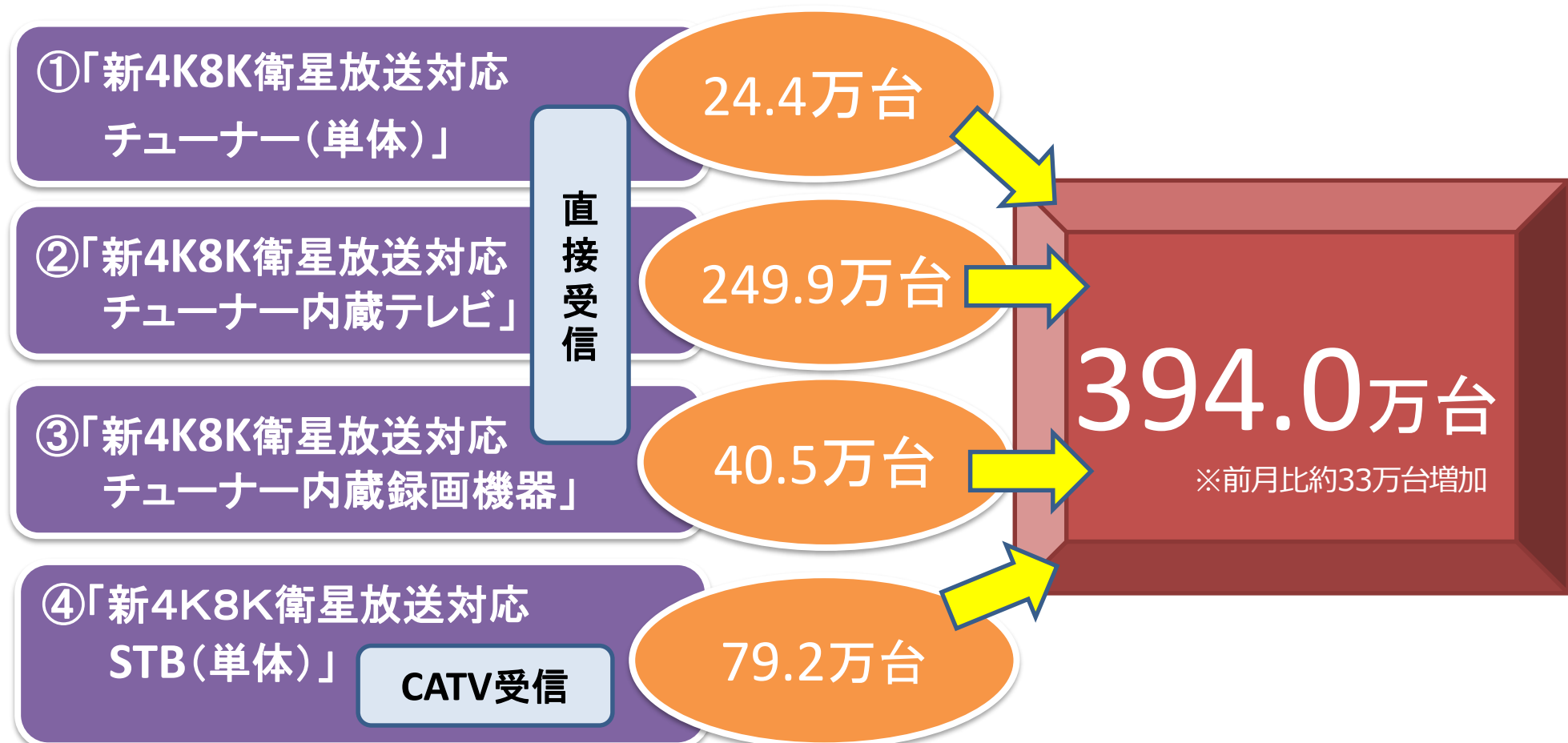
(注)一般的に、「4K対応テレビ」と「4Kテレビ」は以下のとおり呼称。

4K対応テレビ:「新4K8K衛星放送」を受信するために必要なチューナーを搭載していないが、4K・8K映像を表示できるパネルを採用したテレビ。

4Kテレビ:「新4K8K衛星放送」を受信するために必要なチューナーを搭載したテレビ。



- **新4K8K衛星放送を視聴できる受信機器の出荷台数は、令和元年6月以降、堅調に増加し、令和2年3月末時点で約394万台。最近ではチューナー内蔵テレビの出荷台数が大きく伸張。**
- **しかしながら、今般の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期等による受信機の普及への影響を見極める必要**がある。



(注)①②③: JEITA(電子情報技術産業協会)発表、④: JCTA(ケーブルテレビ連盟)ヒアリングによるデータを合算して表示

- BS右旋（4K）のチャンネルは、BS2Kが視聴できる受信環境の場合に対応受信機の購入で視聴可能。
- これに対して、**BS左旋及び東経110度CS左旋のチャンネルを視聴するためには、対応受信機の購入に加え、各世帯の状況に応じて対応アンテナへの交換や宅内配線の工事が必要となる等、右旋と左旋のチャンネルでは視聴環境に差異が存在する。**



視聴者

現在、BS放送
（東経110度CS
放送）を受信可
能なことを前提



BS右旋（6チャンネル）

BS朝日 4K BS朝日 4K BSテレ東 4K BSテレ東 4K
BS日テレ 4K BS日テレ 4K NHK BS4K BS4K
BS-TBS 4K BS-TBS 4K BSフジ 4K BSフジ 4K



チューナー内蔵の4Kテレビを購入
（5万円～100万円程度）
※平成30年6月から各社順次発売
あるいは



チューナー非内蔵の
4K対応テレビを購入
（3万円～）



外付けチューナー
を購入（注）
（1万円～2万円
程度）

（注）CATVに加入の場合にはSTB
（セットトップボックス）を接続す
ることで視聴可能。

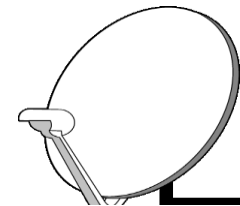
BS左旋（5チャンネル）

ショップチャンネル 4K 4K QVC 4K
ザ・シネマ 4K ザ・シネマ 4K WOWOW WOWOW
NHK BS8K BS8K

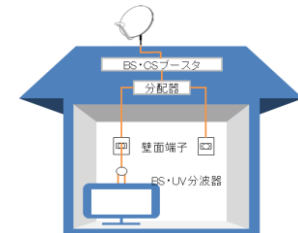
8K放送（NHK BS8K）を
視聴する場合は、
・チューナー内蔵の8Kテレビ
を購入
（30万円～330万円程度）
あるいは
・チューナー非内蔵の8K対応
テレビを購入
（20万円程度）
＋
外付けチューナーを購入
（20万円程度）

110度CS左旋（8チャンネル）

スカパーサービス
J SPORTS 1 J SPORTS 1 J SPORTS 2 J SPORTS 2
J SPORTS 3 J SPORTS 3 J SPORTS 4 J SPORTS 4
スターチャンネル STAR4K スカチャン1 4K
スカチャン2 4K スカチャン2 日本映画＋時代劇 4K



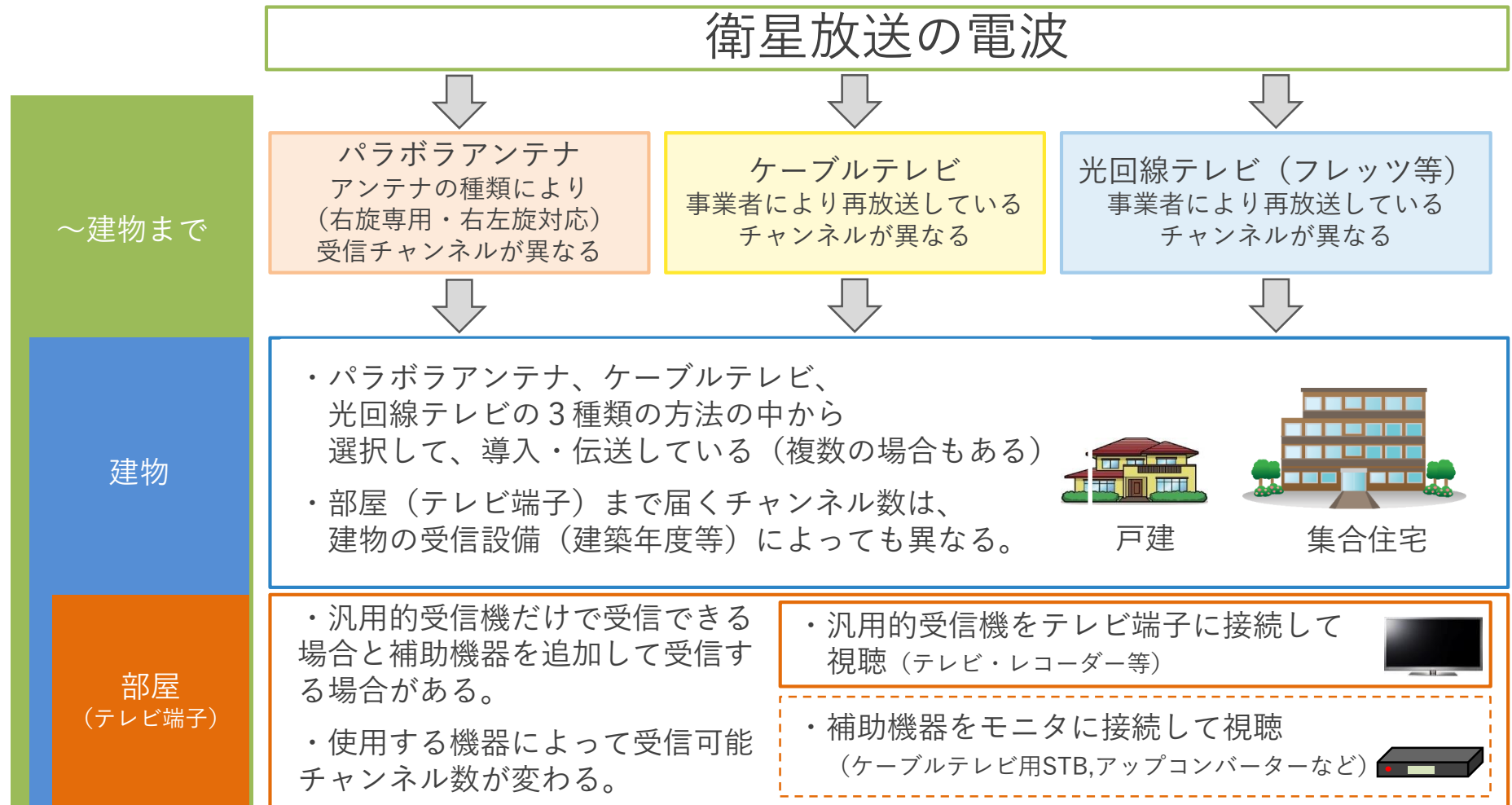
左旋対応アンテナへの交換
（1万円前後＋工事費）



左旋のチャンネルが伝送できない建物は、屋内配
線等交換工事が必要な場合あり。
ただし、電波漏洩する機器を使用している建物は、
対策に補助金が適用される場合あり。

※その他、有料チャンネルを視聴する場合は、視聴料等
の負担の必要あり。

- 衛星放送は、アンテナによる**直接受信のほか、ケーブルテレビや光回線テレビ経由による視聴も可能**である。
- このため、**それぞれの視聴方法に係る現状を把握した上で、各世帯の受信形態に応じたきめ細やかな対応が求められる。**



新4K8K衛星放送における放送番組

14

BS右旋

No	社名	チャンネル名	周波数	放送開始日
1	(株) ビーエス朝日	BS朝日4K 	7ch	平成30年12月1日
2	(株) BSテレビ東京	BSテレ東4K 	7ch	平成30年12月1日
3	(株) BS日本	BS日テレ 4K 	7ch	令和元年9月1日
4	日本放送協会 ※4K	NHK BS4K 	17ch	平成30年12月1日
5	(株) BS-TBS	BS-TBS 4K 	17ch	平成30年12月1日
6	(株) ビーエスフジ	BSフジ4K 	17ch	平成30年12月1日

BS左旋 ※新4K8K衛星放送の開始に向けて、新たに開放した電波

No	社名	チャンネル名	周波数	放送開始（予定）日
1	SCサテライト放送(株)	ショップチャンネル4K 	8ch	平成30年12月1日
2	(株) QVCサテライト	4K QVC 	8ch	平成30年12月1日
3	(株) 東北新社メディアサービス	ザ・シネマ4K 	8ch	平成30年12月1日
4	(株) WOWOW	WOWOW 	12ch	令和2年12月1日
5	日本放送協会 ※8K	NHK BS8K 	14ch	平成30年12月1日

110度CS左旋 ※新4K8K衛星放送の開始に向けて、新たに開放した電波

No	社名	チャンネル名	周波数	放送開始日
1	(株) スカパー・エンターテイメント	J SPORTS 1 (4K) 	9ch	平成30年12月1日
2		J SPORTS 2 (4K) 	9ch	平成30年12月1日
3		J SPORTS 3 (4K) 	11ch	平成30年12月1日
4		J SPORTS 4 (4K) 	11ch	平成30年12月1日
5		スターチャンネル 4K 	19ch	平成30年12月1日
6		スカチャン1 4K 	19ch	平成30年12月1日
7		スカチャン2 4K 	21ch	平成30年12月1日
8		日本映画+時代劇 4K 	23ch	平成30年12月1日

- 新4K8K衛星放送 チャンネル一覧・視聴方法

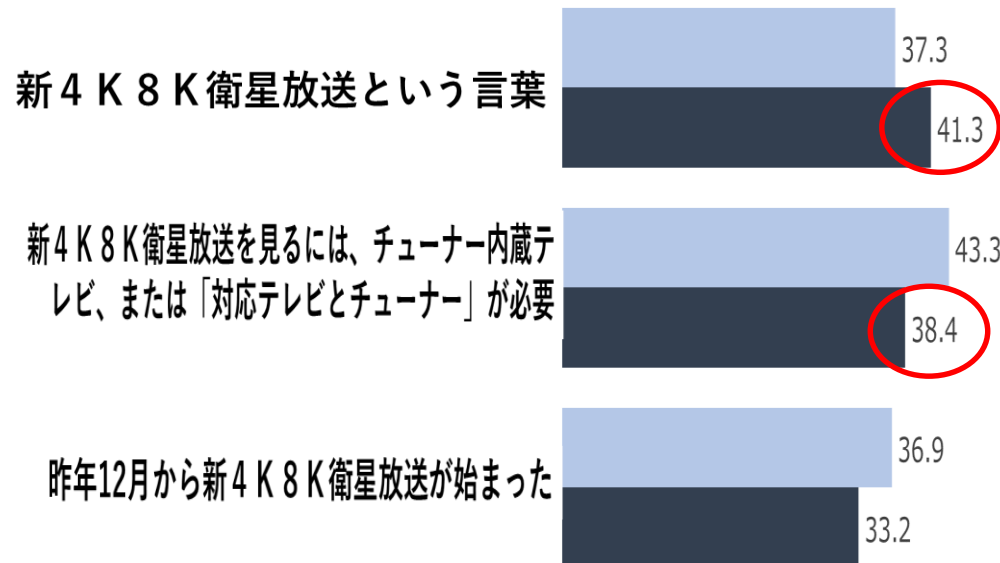
パラボラアンテナ

[illegible]

- 令和元年7月の調査結果によれば、「新4K8K衛星放送」という言葉自体に対する認知度は4割を超えている。また、実際に視聴した人の満足度は高い傾向が見られる。
- しかしながら、**放送を視聴するための受信環境についての認知度は4割弱にとどまっており、引き続き、官民が連携して周知広報に取り組むことが必要。**

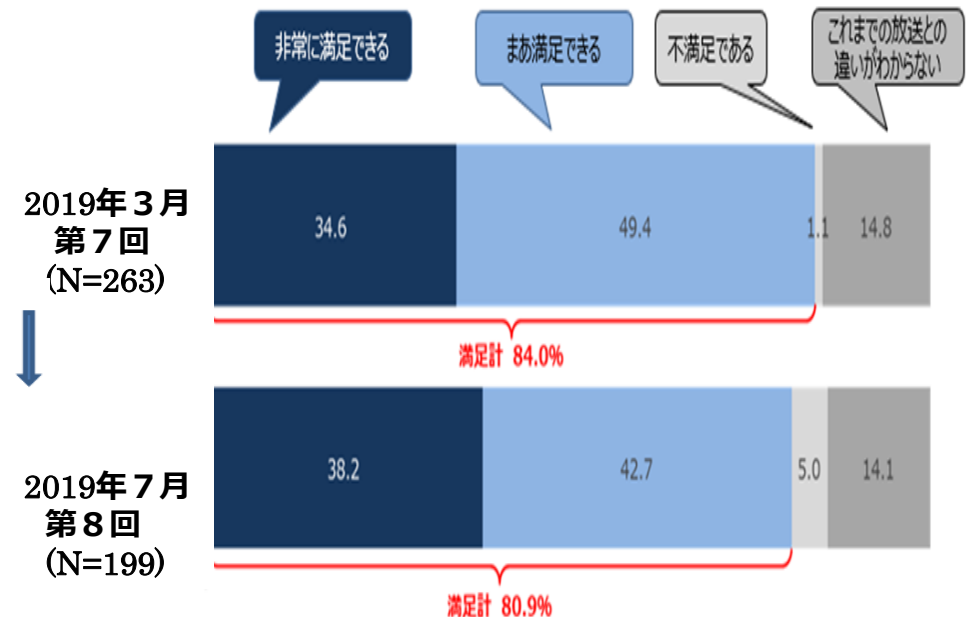
◆新4K8K衛星放送についての理解

■ 第7回（2019年3月）（N=5000） ■ 第8回（2019年7月）（N=5000）



◆新4K(8K)衛星放送満足度

【N=新4K8K衛星放送視聴経験者】（%）



3. 周波数の有効活用に係る取組

- 「衛星放送の未来像に関するワーキンググループ」を平成30年2月から5月の間に開催。
- 右旋と左旋の利用状況の非対称性を踏まえた帯域の有効活用等のあり方について議論。

議論の背景

- 規制改革推進会議第2次中間答申において、「総務省は、放送事業の未来像を見据え、放送用に割り当てられている帯域について、周波数の有効活用などにつき(中略)、検討を行う」旨、提言。

帯域の有効活用 の方向性

- 帯域の有効活用については、右旋と左旋の利用状況の非対称性を前提に、右旋は効率的利用の観点から、左旋は利用促進の観点から、それぞれ有効活用のあり方を検討。
 - ・ BS放送及び東経110度CS放送の右旋帯域における逼迫状況を踏まえれば、帯域が有効活用されているか否かを検証することが必要。
 - ・ 他方で、左旋帯域については、右旋帯域とは別の意味で有効活用が進んでいない状況。

右旋帯域の有効活用

左旋帯域の有効活用

有効活用の観点

効率的利用の観点

利用促進の観点

有効活用の 考え方

- 現在の制度では、衛星基幹放送(BS放送及び東経110度CS放送)の帯域の有効活用に関しては、新規参入、認定の更新いずれに際しても審査項目とされていない。
- 新規参入に関する認定、5年ごとの認定の更新いずれについても、帯域の有効活用を検証し、有効活用が見込まれない場合には、総務大臣が指定する帯域を有効活用が担保できる水準とする仕組みを法制度上明確に位置付けることが望ましい。
- 右旋帯域の利用方策における基本方針については、利用可能な帯域が生じた場合には、原則として、
 - ・ 新規参入によるコンテンツの多様化を優先。
 - ・ 2Kから4K・8Kへの移行について、適切なタイミングで関係者間で検討を開始。
- 帯域再編のコストについては、基本的には原因者・受益者負担が妥当と考えられるが、国の政策による再編成など、一定の場合には費用の一部を国が負担することを検討。

- 左旋帯域の受信環境の問題は、一朝一夕に解決する問題ではなく、多様なメディアを活用したプロモーションを行うなど地道な努力が必要であり、行政においてもこうした取組をサポートすることが必要。
具体的な方策としては、
 - ・ 有線伝送により、左旋帯域への新規参入障壁を緩和し、更に新たな参入意欲を喚起するという好循環モデルが期待。
 - ・ 視聴者の視聴意欲を高めるためには、コンテンツの充実が不可欠。
 - ・ 右旋帯域に参入を予定している事業者についても、新4K8K衛星放送全体を牽引していく観点から、ピュア4K番組の比率を高めるなど、コンテンツに関する一層の取組が期待される。

経緯

- 既存事業者が自主返上を申し出た2 K放送用の周波数帯域を活用し、新規参入等（注：既存事業者の高画質化も含む。）に充てるべく、**昨年3月13日～5月13日の間、公募を実施**※1。

※1：公募に当たり、昨年2月に放送法関係審査基準（訓令）を改正。

審査の概要

- 公募に対し、9者から申請提出。
- 審査は以下の流れで実施。
 - ① **絶対審査**
→放送を実施する上で必ず満たすべき条件（マスメディア集中排除原則への適合性、欠格事由への非該当性等）への適合性を審査。1項目でも不適合であれば認定拒否。
 - ② **第一次比較審査**
→広告放送の割合等の4つの基準への適合性を審査。全ての基準を満たす申請を優先。
 - ③ **第二次比較審査**
→放送番組の多様性、放送番組の視聴需要等11の審査項目により比較審査し、総合評価を実施。
- 審査の結果について、令和元年9月9日の電波監理審議会へ諮問し、**ブロードキャスト・サテライト・ディズニー(株)※2、(株)カワイイアン・ティービー、(株)ジャパネットメディアクリエーション、BS松竹東急(株)※3**の4者の認定を適当とする旨の答申を受け、**同年11月29日に認定証を交付**。

※2：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー(株)については、既存番組の高画質化に係る認定。

※3：BS松竹東急(株)については、令和2年2月1日現在で設立に向けた準備中。

今後のスケジュール

- **令和3年末頃の放送開始**に向け、BS右旋における**帯域再編作業を進めていく必要がある**。

- 令和元年6月に公布した改正放送法により、**衛星基幹放送の業務の認定及び認定更新において**、周波数の有効活用の観点から、**「周波数使用基準（省令）」への適合性を審査要件として追加**（令和2年3月末施行）
- 周波数使用基準では、認定又は認定更新において、伝送方式及びテレビジョン放送の種類（SD、HD、フルHD、4K、8K）ごとに申請可能なスロットの数の上限を定める。

周波数使用基準（省令）の概要

(1) BS／CS放送に係る基準

伝送方式及びテレビジョン放送の種類		スロット数の上限	
		BS	CS
広帯域伝送方式	標準テレビジョン放送（SD）	6	6
	高精細度テレビジョン放送（HD）	1 2	1 2
	高精細度テレビジョン放送（フルHD）	2 0	－
高度広帯域伝送方式	超高精細度テレビジョン放送（4K）	4 0	6 0
	超高精細度テレビジョン放送（8K）	1 2 0	－

(2) その他、補完放送※¹やマルチ編成※²を実施する場合等のスロット追加や、システム改修等の影響を考慮した経過措置について規定

※¹ データ放送、字幕・解説放送、電子番組表（EPG）等。

※² 複数のテレビジョン放送を同時に行うこと。例えば、プロ野球中継の延長時に、メインチャンネルは通常番組、サブチャンネルで野球の延長を放送。

今後の見通し

- ・ 今後、衛星基幹放送事業者の認定更新において、**基準に適合しない場合には、スロットが返上される可能性がある。**

4. 検討課題(案)

(1) 衛星放送事業の現状と課題

- ・衛星放送をめぐる市場環境の変化と影響 等

(2) 新4K8K衛星放送の普及

- ・受信環境整備の現状と課題
- ・有効な周知のあり方 等

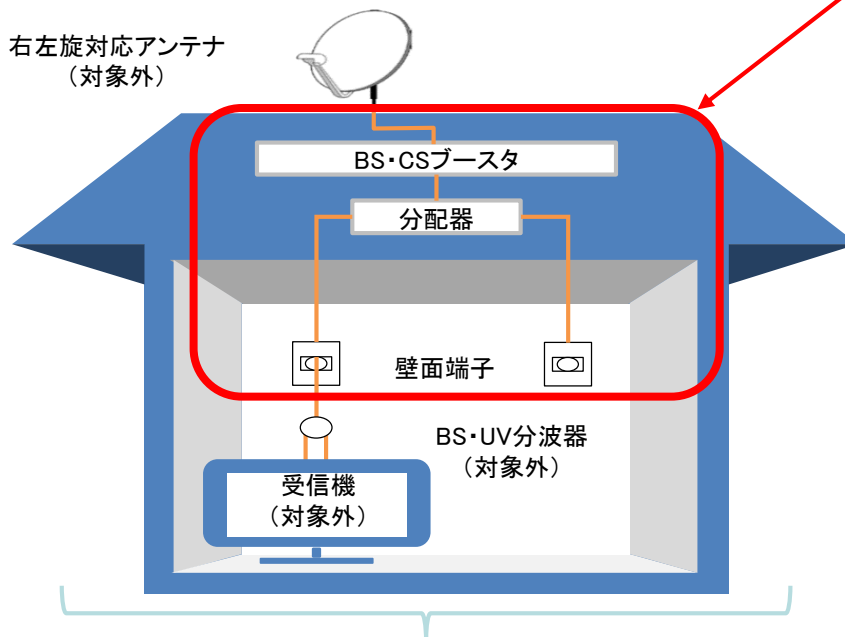
(3) 周波数の有効利用の推進

- ・右旋及び左旋帯域利用の現状と課題
- ・今後の有効利用に向けた方策 等

参考資料（現行の取組等）

- 新4K8K衛星放送(平成30年12月1日開始)で用いられる中間周波数帯(2.2~3.2GHz)について、既存の他の無線サービスとの共用における懸念が指摘されている。
- 他の無線通信に障害を与えるおそれのある衛星基幹放送用受信設備を改修し、適切な受信環境の整備を支援するため、平成30年度から補助事業を実施中。

補助のイメージ図

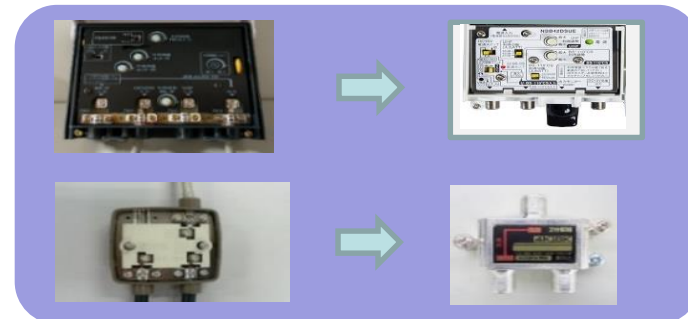


平成29年5月11日以前に設置されていることが必要

アンテナ出力から壁面端子の間にある技術基準に不適合となる機器を改修(交換)するための費用(工事費を含む)の1/2相当額を補助

すでに設置されている
不適合品

適合品に改修
(交換)



○令和2年度※:

- ・予算額 11.0億円
- ・補助予定世帯数 約3万世帯
- ・補助率 1/2

※補助期間は今年の電波法改正により2年間(令和3年度末まで)延長となった

- 平成30年7月豪雨等を踏まえ、ケーブルテレビ事業者を対象に、局舎所在地の災害発生危険度、伝送路の方式及び局舎の停電対策の確認の緊急点検を行い、停電及び局所的豪雨災害等に弱いなど課題が判明したため、ケーブルテレビネットワークの耐災害性強化(ケーブルテレビネットワーク光化)のための緊急対策を実施する。

事業イメージ

【令和2年度当初予算額: 10.0億円】

【令和元年度補正予算額: 10.9億円】

(令和元年当初予算額: 43.1億円)

○ 事業主体

市町村、市町村の連携主体又は第三セクター

○ 補助対象地域

以下の①～③のいずれも満たす地域

- ①ケーブルテレビが地域防災計画に位置付けられている市町村
- ②条件不利地域
- ③財政力指数が0.5以下の市町村その他特に必要と認める地域

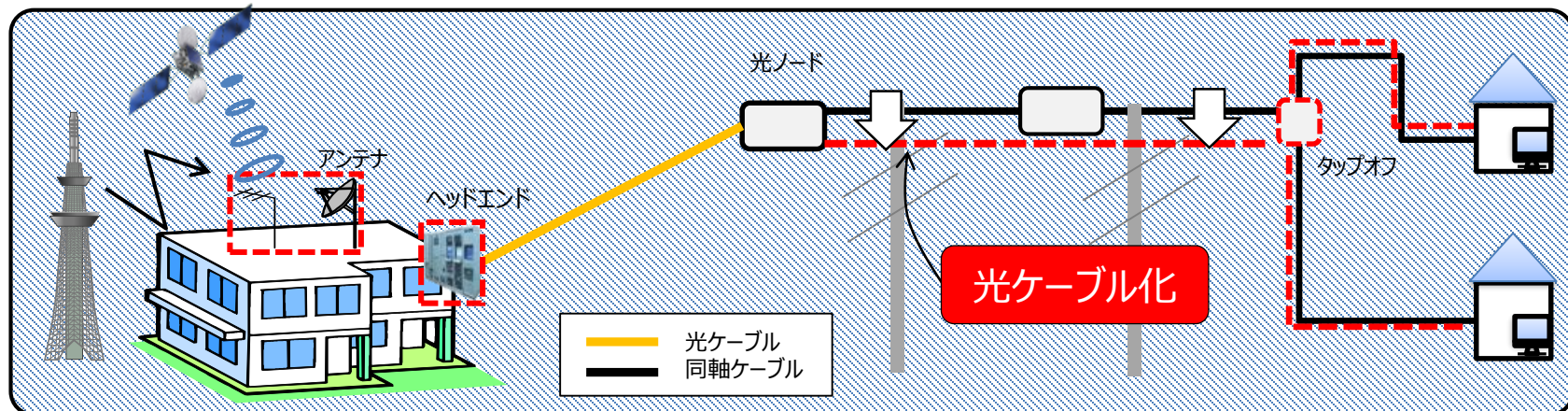
○ 補助率

(1)市町村及び市町村の連携主体: 1/2

(2)第三セクター: 1/3

○ 補助対象経費(下図の赤字部分)

光ファイバケーブル、送受信設備、アンテナ 等



衛星放送サービスの高度化や市場の更なる活性化のため、2K放送から4K放送への円滑な移行の検討に資する技術的課題等の検証を行い、BS放送(右旋帯域)における周波数の有効利用を図る。

【背景・課題】

現在、BS放送(右旋帯域)は帯域が逼迫しており、新規チャンネル開設の需要があるにもかかわらず、困難な状況。また、既存番組(2K放送)についても昨年12月開始の4K放送への移行に向けた動きが今後活発化していくことが想定されるところ、現状では円滑な4K移行のための帯域が不足。

こうした状況を踏まえ、限られた周波数帯を効率的に利用することで、4K放送への円滑な移行に資する検証を行う。

【実施内容】

以下の2つの技術的検証により、周波数を効率的に利用し、2K放送から4K放送への円滑な移行に資する調査検討を行う。

- ①2K放送の映像符号化方式を、現行より圧縮効率の高いHEVC方式に変更することについての検証及び4K放送への移行過程における帯域再編で起こりうる障害等の検証
- ②4K放送の電波が現行の2K放送と隣接する場合において、4K放送の電波の品質を保つため、出力を増大させた場合の影響等の検証

目標

令和3年度までの検討を踏まえ、速やかに技術基準の改正等を行い、周波数の有効利用により2K放送から4K放送への円滑な移行の検討を行う。

対象周波数帯

12GHz帯

実施期間

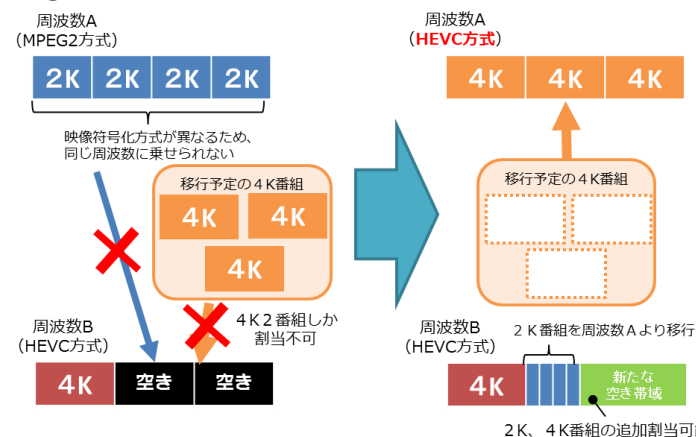
令和2年度～令和3年度(2力年)

令和2年度予算額

533 百万円

技術試験項目①

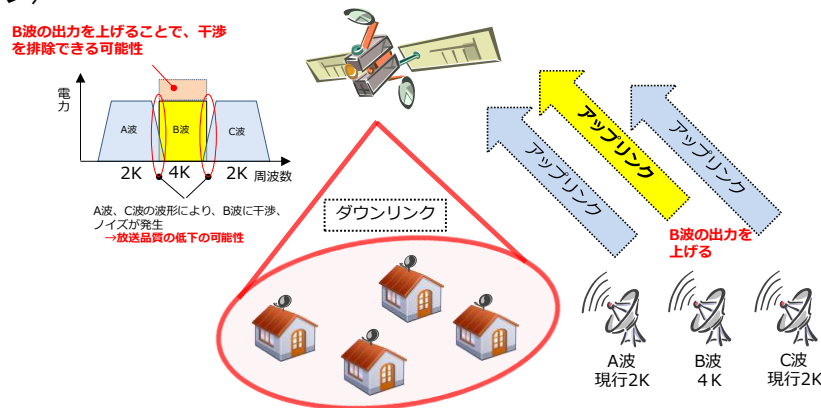
(イメージ)



- HEVC方式は、MPEG2方式の約4倍の圧縮効率を持つことから、2K放送のHEVC化が実現した場合、周波数Aの番組を周波数Bに移行させてもなお、周波数Bの空き帯域を割当てることが可能。
- 既存の周波数帯の範囲内かつ受信機への影響を最小限にとどめて2K放送から4K放送への円滑な移行が実現。また、新たな空き帯域の確保により追加的な割当てが可能となる。

技術試験項目②

(イメージ)



- 新4K8K衛星放送の魅力や視聴方法に係る周知・広報を効果的に推進するため、関係事業者・団体と連携し、「4K・8K放送推進連絡協議会」を開催。（過去8回開催）

目的

平成30年12月から開始された新4K8K衛星放送については、これを視聴するためには別途チューナー等の機器が必要であり、アンテナ等の受信設備の交換が必要な場合もある。

このような状況について視聴者の理解を進めるため、総務省では、放送を巡る諸課題に関する検討会の分科会において、平成29年3月に「4K・8Kに関する周知・広報戦略」を取りまとめた。

当該戦略に基づく周知広報を、関係団体・事業者及び総務省が相互に連携・協力し、効果的かつ効率的に進めるため、今回関係団体・事業者から構成される「4K・8K放送推進連絡協議会」を設置。（総務省は事務局）

活動内容

- ・当該戦略に基づく「4K・8K放送に関する周知・広報計画（アクションプラン）」の取りまとめ
- ・4K・8K放送の送受信環境に係る技術的課題の共有・対応（電波の漏えい対策、BS右旋帯域再編対応等）
- ・視聴者・消費者からの苦情・相談への対応の在り方の検討等

構成員

（9団体・19事業者（令和元年10月現在））

団体

（一社）衛星放送協会
（一社）映像配信高度化機構
大手家電流通協会
全国電機商業組合連合会
（一社）電子情報技術産業協会
（一社）日本ケーブルテレビ連盟
（一社）日本CATV技術協会
（一社）放送サービス高度化推進協会

※オブザーバー
（一社）日本民間放送連盟

事業者

（株）アイキャスト
イツ・コミュニケーションズ（株）
SCサテライト放送（株）
（株）QVCサテライト
（株）ケースホールディングス
ジャパンケーブルキャスト（株）
（株）ジュピターテレコム
スカパーJSAT（株）
（株）東北新社メディアサービス
日本放送協会
日本デジタル配信（株）
（株）ハートネットワーク
（株）ビーエス朝日
（株）BS-TBS
（株）BSテレビ東京
（株）BS日本
（株）ビーエスフジ
（株）放送衛星システム
（株）WOWOW

背景・課題

- ✓ 一部のBS放送事業者から返上のあった空き帯域を活用し、令和元年11月に新たなBS放送事業者を認定。
- ✓ 新たな番組の開始には、帯域再編作業（スロットの縮減、トランスポンダの移動等）が必要。また、再編作業により番組の休止や、録画予約再設定など視聴者への影響も想定。

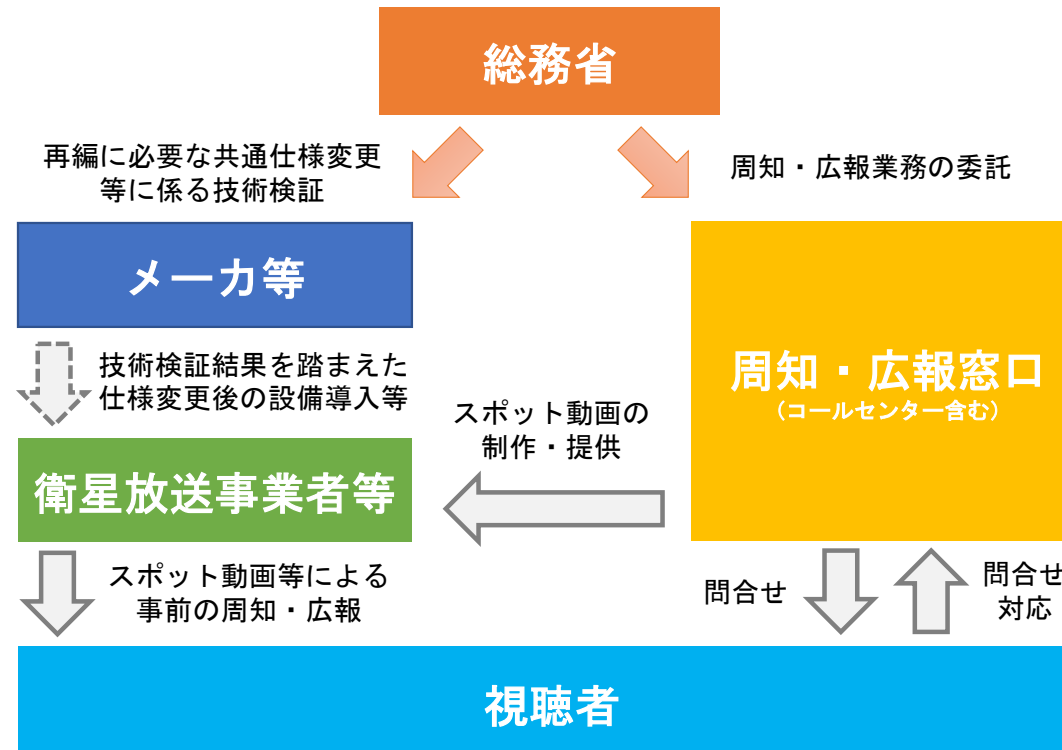
施策

以下の作業を実施することにより、円滑な帯域再編を実現する。

- ・ 帯域再編を柔軟に行うための設備の仕様変更等に係る技術検証
- ・ 帯域再編の周知・広報及びコールセンターの設置
- ・ 周知広報スポット動画の制作

等

【R2予算額：2.0億円】



BS放送(右旋)のテレビ番組のチャンネル配列図

	1ch (11.72748GHz)			3ch (11.76584GHz)			13ch (11.95764GHz)			15ch (11.99600GHz)		
事業者	ビーエス朝日	BS-TBS	BSテレビ東京	WOWOW	NHK	ブロードキャ スト・サ テライト・ ディズニ	BS日本	ビーエスフジ	アニマックスブロード キャスト・ジャパン	NHK	スター・チャンネル	
番組	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	WOWOW プライム	NHK BSプレミア ム		BS日テレ	BSフジ	BS アニマックス	NHK BS1		
ジャンル	総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	総合娯楽			総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	アニメ		スター チャンネル 2 映画	スター チャンネル 3 映画
スロット数	(16)	(16)	(16)	(24)	(18)	(6)	(16)	(16)	(16)	(20)	(13)	(13)

	5ch (11.80420GHz)		7ch (11.84256GHz)			9ch (11.88092GHz)			11ch (11.91928GHz)		
事業者	WOWOW		ビーエス朝日	BSテレビ東京	BS日本	日本BS放送	スター・チャンネル	ワールド・ハイビジョ ン・チャ ンネル	放送大学学園		スカパー・エンター テイメント
番組	WOWOW ライブ			BS朝日 4K	BSテレ東 4K	BS日テレ 4K	BS11		放送大学		
ジャンル	総合娯楽			総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	映画	大学教育放送 【無料】	(*)	BS スカパー！ 総合娯楽
スロット数	(24)	(24)	(40)	(40)	(40)	(18)	(15)	(15)	(16)		(16)

	17ch (12.03436GHz)			19ch (12.07272GHz)			21ch (12.11108GHz)			23ch (12.14944GHz)		
事業者	NHK	BS-TBS	ビーエスフジ	グリー ンチャ ンネル	ジェイ・スポーツ	ジェイ・スポーツ	WOWOW プラス	ジェイ・スポーツ	ジェイ・スポーツ	釣りビジョン	日本映画放送	
番組	NHK BS4K	BS-TBS 4K	BSフジ 4K									(*)
ジャンル		総合編成 【無料】	総合編成 【無料】	グリーンチャンネル	J SPORTS 1 スポーツ	J SPORTS 2 スポーツ	シネフィル WOWOW 映画	J SPORTS 4 スポーツ	J SPORTS 3 スポーツ	BS釣りビジョン 娯楽・趣味	BS日本映画 専門チャンネル 映画	
スロット数	(40)	(40)	(40)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	

 :スカパーJSAT(株)が有料放送管理事業者として、当該有料放送の役務に係る管理業務を行っている番組。

注:斜体表示のテレビ番組(7ch、17ch)は4K。

(*)新規参入事業者等の放送開始(令和3年末頃)に向けた帯域再編作業等を踏まえ、現在、空き帯域となっている。

放送開始済みの放送番組数(令和2年4月1日現在)※	
4K 6番組 HD 26番組  1番組	合計33番組

※ データ放送、音声放送(1番組)を除く。

BS放送(左旋)のテレビ番組のチャンネル配列図

32

事業者	2ch (11.74666GHz)	4ch (11.78502GHz)	6ch (11.82338GHz)	8ch (11.86174GHz)		
	未 使 用	未 使 用	未 使 用	SCサテライト 放送	QVC サテライト	東北新社 メディアサービス
				ショッピング チャンネル 4K ショッピング 【無料】	4K QVC ショッピング 【無料】	 ザ・シネマ 4K 映画
番組						
ジャンル						
スロット数	(120)	(120)	(120)	(40)	(40)	(40)

事業者	10ch (11.90010GHz)	12ch (11.93846GHz)			14ch (11.97682GHz)	16ch (12.01518GHz)
	未 使 用	WOWOW			日本放送協会	未 使 用
		※ WOWOW 総合娯楽			NHK BS8K	
番組						
ジャンル						
スロット数	(120)	(40)	(40)	(40)	(120)	(120)

事業者	18ch (12.05354GHz)	20ch (12.09190GHz)	22ch (12.13026GHz)
	未 使 用	未 使 用	未 使 用
番組			
ジャンル			
スロット数	(120)	(120)	(120)

 :スカパーJSAT(株)が有料放送管理事業者として、当該有料放送の役務に係る管理業務を行っている番組。

注:BS放送(左旋)のテレビ番組は4K(NHKは8K)。

※ 令和2年12月1日より、放送開始予定。

放送開始済みの放送番組数(令和2年1月1日現在)	
8K 1番組 4K 3番組	合計4番組

東経110度CS放送(右旋)のテレビ番組のチャンネル配列図

33

事業者

番組

スロット数

事業者

番組

スロット数

事業者

番組

スロット数

ND2 (12.291GHz)				ND4 (12.331GHz)				ND6 (12.371GHz)						ND8(12.411GHz)					
シーエス・ワンテン			シー・ティ・ビー・エス	シーエス・ワンテン	名古屋テレビネクスト	日本映画放送	スカイ・エー	囲碁将棋チャンネル	インターローカルメディア	シーエス・ワンテン	サテライト・サービス	スカパー・エンターテイメント	SCサテライト放送	サテライト・サービス	東映衛星放送				
																			
テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ		デイズ・ジュニア	TBSチャンネル1	MTV	エンタメ☆テレビHD シネドラバラエティ	時代劇専門チャンネルHD	スカイA	囲碁・将棋チャンネル	ホームドラマチャンネル	歌謡ポップスチャンネル	CNN-J	ミュージック・エア	ディスカバー・チャンネル	アニマルプラネット	カートゥーン・ネットワーク	ショップチャンネル	日テレNEWS24	Meet	東映チャンネル
SD		SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD	SD
12	12	12	12	12	12	12	12	6	6	6	6	6	6	6	6	12	12	12	12

ND10 (12.451GHz)				ND12 (12.491GHz)				ND14 (12.531GHz)				ND16 (12.571GHz)					
スカパー・エンターテイメント			松竹ブロード キャスティング	エムオン エンタテインメント	GAORA	スカパー・ エンターテイメント	キッズ ステーション	インタラク ティーヴィ	東北新社メディアサービス			宝塚クリエイティブ アーツ	インタラク ティーヴィ	CS日本	AXNエンター テインメント	シーエス・ ワンデン	
																	
スカチャン1	KBS World	スカサカ!	衛星劇場	MUSIC ON! TV (エムオン)HD	GAORA	ナショナル ジオグラフィック	キッズステーションHD	ヒストリーチャンネル	ザ・シネマHD	Super! Drama TV HD	ファミリー劇場HD	TAKARAZUKA SKY STAGE	アニメシアターX (AT-X)	AXNミステリー	スペースシャワーTVプラス 100%ヒット	AXN	BBCワールド ニュース
(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(6)	(6)	(6)	(6)

ND18 (12.611GHz)				ND20 (12.651GHz)				ND22 (12.691GHz)			ND24 (12.731GHz)				
インタラクティブィ				サテライト・サービス				シー・ティ・ビー・エス			スカパー・エンターテイメント	CS日本			
															
ゴルフネットワーク	チャンネル銀河 歴史ドラマ・サスペンス・日本のうた	女性チャンネル LaLaTV	ムービープラス	フジテレビONE スポーツ・バラエティ	スペースシャワーTV	フジテレビWOW ドラマアニメ	フジテレビNEXT ライブ・プレミアム	(キラー)VC (キラー)VC 【無料】	TBSチャンネル2	TBS NEWS	FOX	日テレG+ HD	チャンネルNECO	日テレプラス	MONDO TV
12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

総合娯楽 映画 スポーツ 音楽 アニメ 海外ドラマ・バラエティ 国内ドラマ・バラエティ・舞台 ドキュメンタリー ニュース 娯楽・趣味 教育 ショッピング

※スカパーJSAT(株)が有料放送管理事業者として、上記全ての衛星基幹放送事業者が提供している有料放送の役務に係る管理業務を行っているもの。

放送番組数(令和2年1月1日現在)	
HD42番組	SD 12番組
合計54番組	

東経110度CS放送(左旋)のテレビ番組のチャンネル配列図

34

事業者
番組
ジャンル

ND25 (12.231GHz)	ND1 (12.271GHz)	ND3 (12.311GHz)	ND5 (12.351GHz)	ND7 (12.391GHz)
未使用	未使用	未使用	未使用	未使用

スロット数

(120) (120) (120) (120) (120)

事業者
番組
ジャンル

ND9 (12.431GHz)	ND11 (12.471GHz)	ND13 (12.511GHz)	ND15 (12.551GHz)	ND17 (12.591GHz)
スカパー・エンターテイメント		未使用	未使用	未使用
<i>J SPORTS 1 (4K)</i>	<i>J SPORTS 2 (4K)</i>			
スポーツ	スポーツ			
<i>J SPORTS 3 (4K)</i>	<i>J SPORTS 4 (4K)</i>			
スポーツ	スポーツ			

スロット数

(60) (60) (60) (60) (120) (120) (120)

事業者
番組
ジャンル

ND19 (12.631GHz)	ND21 (12.671GHz)	ND23 (12.711GHz)
スカパー・エンターテイメント		スカパー・エンターテイメント
<i>スターチャンネル 4K</i>	<i>スカチャン1 4K</i>	<i>日本映画+時代劇 4K</i>
映画	総合娯楽	総合娯楽
<i>スカチャン2 4K</i>		
総合娯楽		

スロット数

(60) (60) (60) (60) (60) (60)

注: 東経110度CS放送(左旋)のテレビ番組は4K。

放送番組数(令和2年1月1日現在)	
4K 8番組	合計8番組